

— 地域の活性化をともに考える場に —



高校生と議員との 意見交換会



7月13日（火）に市役所会議室で府中高校2年生生徒9名と市議会議員による意見交換を行いました。

3班に分かれてのグループ討議のあと、全体協議を行い、少子高齢化や過疎化対策をテーマに意見が交わされ、有意義な会となりました。

6月議会

令和3年度府中市一般会計補正予算等を可決!

6月定例議会は、6月14日から6月29日まで16日間開き、議案13件、報告7件、審議、議決しました。

主 な 議 案

- ・ 専決処分の承認を求めることについて（歳入歳出総額7,054万5千円を追加し、歳入歳出それぞれ229億5,533万5千円とする。高齢者等の為の移動支援チケット配布事業） 承認
- ・ 令和3年度府中市一般会計補正予算(第3号)について（歳入歳出総額6,239万2千円を追加し、歳入歳出それぞれ230億1,772万7千円とする。） 原案可決
- ・ 令和3年度府中市一般会計補正予算(第4号)について（歳入歳出総額309万1千円を追加し、歳入歳出それぞれ230億2,081万8千円とする。新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金） 原案可決
- ・ i-coreFUCHU(いこーれふちゅう)の設置及び管理条例の制定について（賑わいの創出を図り情報発信の機能を有する複合施設） 原案可決
- ・ (仮称) 上下地域包括ケア拠点施設改修工事請負契約の締結について（旧三玉医院の改修工事） 原案可決
- ・ 府中市予防接種健康被害調査委員会条例の制定について 原案可決

一般質問

Q & A

6月17日、18日 13人の議員が
市政を問う！



創生会 加藤 吉秀

鳥獣被害対策

鳥獣被害対策について伺う。

Q 近年、鳥獣（イノシシ、シカ、サル等）被害が増えている。イノシシなどの大型動物用の箱わなは、現在60基余り。毎年10基程度増やす計画で予算化している。サルの捕獲では国の補助金で、ICTを活用した大型捕獲おりを阿字町に設置した。地元住民の協力で現在13頭の捕獲実績がある。府中市猟友会の捕獲隊の高齢化もあり、今後、セミナー等を開催し市民の皆さんにご理解、ご協力を得ながら捕獲隊メンバーの増員、若返りを図りたい。

A 近年、鳥獣（イノシシ、シカ、サル等）被害が増えている。イノシシなどの大型動物用の箱わなは、現在60基余り。毎年10基程度増やす計画で予算化している。サルの捕獲では国の補助金で、ICTを活用した大型捕獲おりを阿字町に設置した。地元住民の協力で現在13頭の捕獲実績がある。府中市猟友会の捕獲隊の高齢化もあり、今後、セミナー等を開催し市民の皆さんにご理解、ご協力を得ながら捕獲隊メンバーの増員、若返りを図りたい。



創生会 本谷 宏行

新型コロナウイルスワクチン接種について

Q ワクチン接種加速化について、取り組みと市長の決意を伺う。

A 12歳以上65歳未満の全ての人へ接種券を7月上旬に発送し、7月中旬から接種を開始する。ただし、予約は基礎疾患のある人などを優先し、60歳未満の基礎疾患のない人はその後で予約を受け付ける。また、かかりつけ医による個別接種については現在調整中である。

市長 65歳以上の人の接種が7月末に完了する目途がついた。65歳未満の約2万人についても10月末での完了をめざす。



創生会 田邊 稔

（地方独立行政法人） 府中市病院機構の経営改革

Q 府中市病院機構に対する今後の経営改革に向けた市長の決意を伺う。

A 病院の経営については、市の財政にも関わるので経営状況の改善に向け人材確保・育成や外部知見の活用も必要と考えている。また地域完結型の医療をめざしている。医師確保により機能が充実した整形外科や外科、内科の診療科目を中心に経営状況の改善を図るとともに、市民への安心・安全な医療提供ができるよう府中市病院機構と力を合わせて取り組んでいきたい。



創生会 森川 稔

公共下水道の整備時期

Q 令和2年3月策定の汚水処理施設整備構想では、下水道整備区域に今後30年で下水道を整備する計画であるが、アクションプラン以降25年間の整備予定がない。それぞれの地域にいつ整備されるかを示して、下水道整備時に各家庭の協力を得やすくすることが必要だと思うがどうか。

A 確定した計画ではないが現段階の概略について、概ね5年から10年程度の枠で、大まかな整備の順番を示す必要があると考えている。



創生会 加納 孝彦

DX推進

Q ICT都市府中をめざすうえで、DXの推進は避けて通れない。DX推進本部の役割について伺う。

A DXの推進によって、より効率的に質の高いサービスを提供できるようなことにすること。さらに直接市民の皆様の声や、地域社会の現実を観察し、そこから見えてくる課題や創造すべき価値を実現するために活動することと考えている。ICT技術を活用し、快適で活力のある府中市にしていきたい。



創生会 橋高 尚裕

南北道路の進捗

Q 南北道路の進捗状況について伺う。

A 今年3月、広島県と用地事務に関する基本協定を締結し、用地事務は府中市、建設工事は県、という役割分担を明確にした。今年度の工事予定は、栗柄町の四日市川の護岸工事、国道486号の交差点改良工事、芦田川左岸の橋台工事および新扇橋の工事に着手する。用地買収も引き続き進め、県は早期完成をめざしている。



日本共産党 榑崎 征途

公園の安全な維持管理

Q 市の管理する公園の遊具が壊れているところもあり危険である。市の公園はいくつあってどのように管理されているか。

A 土木課が管理している公園は92か所ある。専門業者による遊具の点検は、毎年度、又は2〜3年に1度行っている。このほか職員による点検も行っている。損傷などが確認できた場合、速やかに修繕を行う。また危険度の高い損傷があった場合には、使用禁止の措置をとり事故のないように心掛けていく。



日本共産党 岡田 隆行

児童・生徒の重いランドセル、 通学カバンの改善

Q 近年、重いランドセルや通学カバンが児童・生徒にかなりの負担になり、成長発達にも課題となっている。今後どのような対応を講じるか。

A 平成30年の教育委員会からの通知にもとづいて、携行品の持ち帰りを軽減する取り組みは、各校において継続して進めているところである。また、児童・生徒自身が携行品について選び取る力を身に付けさせるための教育も学校と協議しながら進めていき、改善策に反映させたい。



公明党
おおもとちか
大本千香子

生理用品の無料配布

Q 経済的困窮により必要な生理用品が買えない方が、5人に1人との報告がある。女性の心身の健康に大きな問題であり、市として緊急配布をされるべきではないか。今後、学校や公共施設のトイレへの継続的な無償配置はできないか。
A コロナ禍での支援として、生理用品の無料配布をおこないたい。今後の継続的な無料配布については、検証や状況分析をおこないながら、必要なら検討をしたい。



公明党
かしまひろのぶ
加島 広宣

思いやり駐車場の整備

Q 本庁舎前に思いやり駐車場（障がい者等用）が3台分あるが、その内2台には屋根がなく、屋根を設置し利用者への満足度を高められるようにしてはどうか。
A 現状2台分のスペースには屋根がないが、利用状況や声を伺い、スロープや屋根の設置について検討をしたい。



市民クラブ
しばうちのりあき
芝内 則明

府中市教育

Q 県は、「安心▽誇り▽挑戦ひろしまビジョン」で、教育指標の一つに「全国学力テスト正答率40%未満の児童・生徒の割合を、10%以下にする。」とあるが、市としての今後の取り組みを伺う。

A 授業改善をするなかで、一人ひとりの子どもに応じた学力形成を図っていくことが基本となる。そのうえで、学力が十分についていない、特に低学年からの子どもに対して重点的に支援していく取り組みを拡大していく必要があると考えている。



市民クラブ
としいもと
土井 基司

水道事業広域化

Q 安心・安全で安定した水供給が欠かせない。広島県と各中福山間の緊急連絡管の接続計画はあるのか。また、料金や民営化の見込みについての協議状況を伺う。
A 緊急連絡管の接続については、水源などの余力がなく近接管路の口径が小さく不十分なため、現時点で計画はない。料金は当分現行を維持し、10年後を目途に再検討する。民営化については今まで協議したことはない。



市民クラブ
みずたゆたか
水田 豊

（地方独立行政法人） 府中市病院機構について

Q 府中市市民病院の再編統合問題の現在と府中北市民病院の存続対策について伺う。
A コロナ禍の中、現在のところ急性期病床の削減問題は福山府中地域医療構想調整会議でも具体的な話は出ていない。府中北市民病院には、府中市市民病院から1名を派遣して常勤医師3名体制を維持。看護師も病院機構で採用し府中北市民病院に配属している。MRIやCTなど医療機器の充実も病院機構として支援している。府中市の二病院の機能は今後も守って行く。



委員会での審議

総務文教委員会

・公の施設の指定管理制度に係る関係条例の整備等に関する条例の制定について

（原案可決）

Q 今回、指定管理の期間を定めない理由及びメリッ

トは何か。併せて、期間を定めないと指定管理の固定化や、情動的な活動になってしまふ懸念があるが、こうした

心配はどのように払拭をしていくのか。

A 指定管理期間については、あくまで5年間をベースとして考えている。例えば、民間資本を投入して投下資本の回収をすべき施設があれば、10年単位での期間設定ということもあり得る。逆に、施設の大規模な改修や建て替えをするものについては、それまでの間、若干短めの期間を設定するというのが、制度変更の理由である。固定化の懸念については、我々と指定事業者の間で、チェックをしながら対応していきたいと思っている。

Q 指定管理であったものを指定管理にしないとした場合、今までは条例改正が必要であった。

A 今回、規定を見直すことで、議会の関与なく決められることとなるが、議会に権限がないと受け取ることもできる。二元代表制について、どのように考えているのか伺う。

A この3年間、小野市長になつて説明資料に工夫を凝らし、議会とも議論ができたようになってきたと思っている。しかし、これで十分というのではなく、今回の議案や部課設置条例にしても、全てが執行部へ委任されていないということではない。議会と執行部の間で、一般

質問、委員会、あるいはそれ以外の機会を活用しながら、しっかりと議論をしていきたい。決して議会軽視ということではなく、そういうことはあってはならないと思っている。

予算特別委員会 総務文教分科会

・令和3年度府中市一般会計補正予算(第3号)について

Q 公民館活動の活発化や、地域によって社会教育の格差をなくす意味においても、推進員が必要である。公民館費の減額については、さらに回すわけにはいかないのか。

A 公民館活動推進員を配置していない公民館は、諸田公民館、河佐公民館、中央公民館の3館である。このうち諸田及び、河佐公民館については、地域の社会教育活動に対する活動補助金を交付し、地域や公民館利用者の皆様の活動を支援している。公民館については、社会教育及び生涯学習活動の拠点、ICT教育の拠点として整備し更なる充実を図っていきたくと考えている。現在、公民館活動推進員未配置の公民館を含め、人員体制の在り方について引き続き検討し、来年度の予算に間に合うように整理していきたい。

厚生委員会

・府中市手数料条例及び府中市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部改正について(原案可決)

・令和3年度府中市一般会計補正予算(第3号)について

低所得の子育て世帯生活支援特別給付事業について、対象世帯数と給付要件、支給時期について伺う。

手数料条例の改正については、個人番号カードの再交付手数料800円の会計上の取り扱いが変わることによるものである。現在、再発行の際に1000円を負担していたら、このうち200円は暗証番号の設定料として、カードの発行元である地方公共団体情報システム機構に送金しており、800円はカード代として、手数料条例に規定し市の歳入に入れたのち、機構に送金している。

9月より全額を機構との委託契約に基づき徴収し、歳計外現金として取り扱うこととなるため、今回、手数料条例から外すこととなった。番号利用に関する条例の改正については、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」が改正され、第19条に、「勤め先が変わった場合、本人の同意があれば、従前の勤務先から新しい勤務先に特定個人情報

報の提供を可能にする」という項目がつけ加えられたことにより、引用号数が変わるため、今回の条例改正を行うものとした。

予算特別委員会 厚生分科会

・令和3年度府中市一般会計補正予算(第3号)について

低所得の子育て世帯生活支援特別給付事業について、対象世帯数と給付要件、支給時期について伺う。

今回の給付金は、低所得象児童1人につき5万円の給付金を支給する。予算については、570名分を計上している。府中市の令和3年2月時点の児童手当受給対象児童は、3824人となっており、そのうち約15%が非課税もしくは非課税相当の条件を満たすと想定している。主な要件としては、高校卒業となる18歳までの児童を養育する世帯で、住民税の所得割の非課税世帯が対象となる。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、家計が急変し、非課税相当の収入となった場合や、特別児童扶養手当の受給者なども対象となる。なお、この事業の経費については、全額国の負担となる。また、専決の「ひとり親世帯臨時特別給付金」の受給者は、今回

の給付金の対象にはならない。給付の時期については、申請の必要がない令和3年4月分の児童手当または、特別児童扶養手当の受給者のうち、令和3年度分の住民税均等割が非課税の方について、7月末に支給する予定としている。申請が必要な16歳から18歳の児童や、新規に児童手当や特別児童扶養手当が認定となる児童、また、家計が急変された方については、申請があり次第、随時認定または支給決定をし、翌月支給する予定としている。

建設委員会

・iicoreFUCHU(いこーれふちゅう)の設置及び管理条例の制定について(原案可決)

iicoreFUCHU(いこーれふちゅう)内のネウボラの関係は、この条例のどこに位置づけるのか

地方自治法において、住民の福祉を増進する目的をもって、その利用に供するための施設であれば、条例で定めるということになっている。今回のネウボラについては住民の利用に供する施設というよりは、各課の事務分掌に基づく必要な事務を処理するための施設であることか

ら、地方自治法に規定する公の施設には該当しないということ、今回の条例には含まれていない。ネウボラの事業の実施については、事務処理上の実施要綱で事務を行って

第17条の特別な設備とあるが、何を想定しているか。また、物品の持ち込みの電気代は使用料に明記されていないがどうなるのか。

イベントなどで大型のスペースなどを搬入される場合は、使用許可の判断をさせていただきたい。また、パソコンなど、電源が必要なものを持ち込まれると思うが、こちらについては使用料込みの値段で設定している。

予算特別委員会 建設分科会

・令和3年度府中市一般会計補正予算(第3号)について

低所得の子育て世帯生活支援特別給付事業について、対象世帯数と給付要件、支給時期について伺う。

今回の給付金は、低所得象児童1人につき5万円の給付金を支給する。予算については、570名分を計上している。府中市の令和3年2月時点の児童手当受給対象児童は、3824人となっており、そのうち約15%が非課税もしくは非課税相当の条件を満たすと想定している。主な要件としては、高校卒業となる18歳までの児童を養育する世帯で、住民税の所得割の非課税世帯が対象となる。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、家計が急変し、非課税相当の収入となった場合や、特別児童扶養手当の受給者なども対象となる。なお、この事業の経費については、全額国の負担となる。また、専決の「ひとり親世帯臨時特別給付金」の受給者は、今回

の給付金の対象にはならない。給付の時期については、申請の必要がない令和3年4月分の児童手当または、特別児童扶養手当の受給者のうち、令和3年度分の住民税均等割が非課税の方について、7月末に支給する予定としている。申請が必要な16歳から18歳の児童や、新規に児童手当や特別児童扶養手当が認定となる児童、また、家計が急変された方については、申請があり次第、随時認定または支給決定をし、翌月支給する予定としている。

建設委員会

・iicoreFUCHU(いこーれふちゅう)の設置及び管理条例の制定について(原案可決)

iicoreFUCHU(いこーれふちゅう)内のネウボラの関係は、この条例のどこに位置づけるのか

地方自治法において、住民の福祉を増進する目的をもって、その利用に供するための施設であれば、条例で定めるということになっている。今回のネウボラについては住民の利用に供する施設というよりは、各課の事務分掌に基づく必要な事務を処理するための施設であることか

ら、地方自治法に規定する公の施設には該当しないということ、今回の条例には含まれていない。ネウボラの事業の実施については、事務処理上の実施要綱で事務を行って

第17条の特別な設備とあるが、何を想定しているか。また、物品の持ち込みの電気代は使用料に明記されていないがどうなるのか。

イベントなどで大型のスペースなどを搬入される場合は、使用許可の判断をさせていただきたい。また、パソコンなど、電源が必要なものを持ち込まれると思うが、こちらについては使用料込みの値段で設定している。

予算特別委員会 建設分科会

・令和3年度府中市一般会計補正予算(第3号)について

「飲食店が元気!地域が元気!プロジェクト(びんご府中プレミアムバル)」府中のはしご酒との違いは何か。また、特徴的な内容は何か。

府中のはしご酒は、開催日は1日のみで、夜間のみの形であった。利用する店舗は事務局があらかじめ決定し、皆さんに利用していただいていた。今回の、びんご府中プレミアムバルは、期間は

10日間を設定し、各自利用したいお店を利用できるように形にしたいと考えている。また、各店舗の判断によるが、夜だけでなく、朝・昼での利用もご協力いただけるなら、利用の対象にさせていただきます。期間を長くとしたことは、各自任意でお店を選択できることが可能となるため、3密を緩和できるという利点があると考えている。

〔仮称〕泊りにゃあ備後府中(府中市宿泊事業者支援事業)市内の宿泊事業者に割り振りして支援が均等に行きわたるようにするのか、若しくは、早いもの勝ちの支援なのか。また、事業終期を令和3年12月31日としているが、事業開始時期によっては、終期の延長を考えられているのか。

和3年12月31日としているが、事業開始時期によっては、終期の延長を考えられているのか。

宿泊事業者への割振り額

討論

議案第44号

令和3年度府中市一般会計補正予算案(第2号)専決処分の承認

反対討論

日本共産党 岡田 隆行

「移動支援チケット配布事業」については「税金は有効に活用すべきだ」「必要のない人が多い」との市民からの

賛成討論

創生会 三藤 毅

車を運転しない人だけでよ

声を多く聞く。この事業には印刷費、通信費も700万円に上る。「専決」で処理せず臨時議会を開き十分論議し、より充実した内容にする必要があったと考え承認に反対する。

いと意見もある。しかし車を運転する人でも、副反応の対応を考え、あえて接種会場にはタクシーで行きたいという人もいます。今はスピード感が求められる時、この支援策により少しでもワクチン接種の不安とリスクが軽減できると考え、賛成する。

賛成討論

公明党 大本千香子

ワクチン接種会場への移動手段に困っている高齢者への支援となつていくこと。利用期間が来年2月末までとされ、コロナ後の外出支援や経済活動支援になることなど市民へのチケット活用のわかりやすい広報に努められることを付して賛成する。

賛成討論

市民クラブ 水田 豊

65歳以上の全員に配布することに市民の批判がある。「私は一人で行ける、チケットは必要ない」「税金の無駄遣いをするな、他に必要なことに使つて欲しい」と言われている。市政に対する健全な批判精神の現れだと思ふ。交通弱者に対する支援は必要であるので賛成はするが、市民の声にも謙虚に耳を傾けてほしい。

令和2年度政務活動費の報告

会派	人数	支給額(円)	使用額計(円)	項目	使用額(円)	内容	効果
創生会	13人	1,560,000	1,109,582	研究研修費	292,240	広島県庁等へ研修旅費	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁にてGIGAスクール構想と新型コロナウイルス対策について研修を受けた。GIGAスクール構想については、端末及び通信料の考えについて大変参考となった。 ・コロナ禍で現地視察ができない中、議会BCPについて大津市議会事務局よりZOOMによるオンライン研修を受けた。また、関東学院大学の教授より、議会力=議会改革力についてオンラインセミナーを受け、特に政策決定の可視化についての知見を深めることができた。 ・日経グローバルの定期購読、会派員のスキルアップのための研修動画購入、ビデオ研修を実施し会派のレベル向上に活かす。 ・会派としての議会報告を中心に市民への情報発信を目的とし創生会通信を全4回発行した。
				オンライン研修会経費			
				資料購入費	241,162	書籍・資料購入費	
				広報費	576,180	創生会通信 4回発行	
			-450,418	(返還額)			
市民クラブ	3人	360,000	117,458	広報費	117,458	市民クラブニュース印刷代・折込料	<ul style="list-style-type: none"> ・会派で行った調査研究、議会活動及び市の政策等について、広報誌により、幅広く市民に報告することができた。
						-242,542	
公明党	2人	240,000	63,000	研究研修費	30,000	「選択的夫婦別姓」研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・府中市役所に講師を招き、選択的夫婦別姓制度の研修会を行った。当事者の生の声を伺う機会を得ることができ知見を深められた。 ・新たな時代に対応する学校運営や先進的な教育実践例など、他市の取り組みを知ることができた。
				資料購入費	33,000	日本教育新聞購読	
						-177,000	
日本共産党	2人	240,000 (12,340) 会派活動費	252,340	資料購入費	5,170	生活保護手帳2020年版他	<ul style="list-style-type: none"> ・最新の生活保護関係法令及び通知などを知り、生活保護実施のポイントを理解できた。 ・この1年、各定例議会の内容を分かりやすくまとめて広く知らせていく取り組みを進めてきた。各定例会の後、「議会報告・たんぼぼ」を発行し、多くの市民の皆様から市政に対するご意見や会派に対するご要望を聴かせて頂くことができた。
				広報費	247,170	議会報告印刷費、新聞折り込み代等	

○詳細は府中市ホームページにも掲載しています。

議員によるワクチン接種予約の支援活動



TAM (生涯学習センター) 会場 (府中ニュース速報提供)



上下町民会館会場

「市にネット予約の窓口を開設してほしい」という多くの高齢者からの声を受け、議会が市に要望した結果、予約窓口を開設することが出来ました。5月29日(土)と30日(日)、および6月12日(土)に議員も予約業務に参加しました。

市議会から市長への緊急要望書を提出

令和3年6月4日
府中市長 小野 申人 様
府中市議会議員 森田 澄子
新型コロナウイルスワクチン接種に関する緊急要望

新型コロナウイルス感染症の爆発的な拡大に伴い、広島県の緊急事態宣言は6月20日まで延長された。これにより飲食店や大規模施設への休業・時短要請、市民への外出や移動範囲の限定等の要請により、市民生活、経済活動、社会活動への深刻な影響が続いている。

ワクチン接種の推進は、健康推進課ワクチン接種推進チームを中心に会場準備、接種案内、予約受付、医療従事者確保、県との連携等短期間で進められてきた。

不確定要素の多い情報で混乱する中、困難とも思える国から示された期限までに接種完了を目指し、丁寧に準備を進め、現在のワクチン接種が大きな混乱を来すことなく実施されていることに敬意と感謝を表すものである。

今後は16歳から64歳まで接種対象が拡大され、府中市では約1万8千人がその対象となり、かつ職域や学校、有基礎疾患者等に細分化され、接種対応も訪問型、個別型、企業等様々な対応が予想される。さらに今後は広域連携やワクチンの種類も複数投入されることもあり、現在の接種体制では対応が更に厳しくなると思われる。

一日も早い感染症の抑え込みが必要とされる中、希望される府中市民全員へのワクチン接種完了は、最重要の感染症対策であり、現在の府中市政の最優先課題である。

よって府中市ワクチン接種に関し、次のとおり対応されるよう要望する。

- 1 65歳未満のワクチン接種が全国的に加速されつつある中、喫緊の課題である65歳以上の高齢者のワクチン接種については、7月末完了に向けて全力で取り組まれない。
- 2 市民へのワクチン接種に向けて、全庁的に取り組めるよう体制強化を早急に図りたい。
- 3 介護施設職員、教職員等教育関係者、保育士、放課後児童クラブ支援員、ワクチン接種会場職員等、接触を避けられない職種の方の優先接種を条件が整えば速やかに実施されたい。
- 4 在宅看護・介護者への優先接種を検討されたい。
- 5 市民の不安解消のため、ワクチン接種に関する情報について、タイムリーで分かりやすく発信されたい。
- 6 接種予約が取りやすい環境、体制整備を拡充されたい。

新型コロナウイルス感染症拡大防止には、ワクチン接種が最優先課題であり、速やかに、またスムーズに接種が完了するよう、体制を強化して全力で取り組んでほしい旨を市議会から市長へ要望しました。

6月議会での各議員の議決結果

(賛否が分かれたもの、主なもののみ掲載しています。詳細は府中市ホームページをご覧ください)

議案名	議員名	棗田	芝内	福田	森川	広瀬	安友	岡田	榑崎	土井	水田	加納	山口	本谷	三藤	加島	大本千香子	田邊	橋高	加藤	丸山
		澄子	則明	勉	稔	和彦	正章	隆行	征途	基司	豊	孝彦	康治	宏行	毅	広宣	稔	尚裕	吉秀	茂美	
専決	専決処分の承認を求めることについて (令和3年度府中市一般会計補正予算(第2号))	-	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	i-coreFUCHU(いこーれふちゅう)の設置及び管理条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	府中市予防接種健康被害調査委員会条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	令和3年度府中市一般会計補正予算(第3号)について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	令和3年度府中市一般会計補正予算(第4号)について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事件	(仮称)上下地域包括ケア拠点施設改修工事請負契約の締結について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(一議長は採決に加わらず、欠は欠席、×は反対、○は賛成、棄は棄権、除は除斥・・・本人等に関わる議案については審議に参加できないこと)

議員研修会の実施



府中市役所4階第一委員会室にて

5月12日に議員研修会を行いました。

研修会は「政策サイクルについて」と題して、大正大学社会共生学部の江藤俊昭教授から講義を受けました。研修方法はICT技術による遠隔地からのオンライン研修で、議会から政策提言を行う重要性などについて、わかりやすく説明いただきました。

議会の動き(4~6月)

- 4月6日 建設委員会(所管事務調査)
- 4月7日 議会運営委員会(所管事務調査)
- 4月7日 総務文教委員会(所管事務調査)
- 4月7日 厚生委員会(所管事務調査)
- 4月15日 広報広聴特別委員会(編集作業等)
- 4月22日 総務文教委員会(所管事務調査)
- 4月28日 賑わいづくり特別委員会
- 4月28日 厚生委員会(所管事務調査)
- 5月7日 建設委員会(所管事務調査)
- 5月7日 賑わいづくり特別委員会
- 5月12日 議員研修会(オンライン研修)
- 5月14日 全員協議会(執行部説明)
- 5月14日 議会運営委員会(定例会の運営)
- 5月14日 建設委員会(所管事務調査)
- 5月18日 総務文教委員会
- 5月20日 厚生委員会(所管事務調査)
- 5月20日 賑わいづくり特別委員会
- 5月26日 厚生委員会(オンライン研修)
- 5月28日 議会運営委員会
- 6月1日 賑わいづくり特別委員会
- 6月8日 議会運営委員会(定例会の運営)
- 6月14日~6月29日 6月定例会
- 6月18日 議会運営委員会(定例会の運営)
- 6月22日 総務文教委員会、分科会(議案の審査)
- 6月23日 厚生委員会、分科会(議案の審査)
- 6月24日 建設委員会、分科会(議案の審査)
- 6月25日 議会運営委員会(定例会の運営)
- 6月29日 広報広聴特別委員会(編集作業等)

編集後記

今年も新型コロナウイルス感染症と共存しながら半年が過ぎました。感染対策のワクチン接種も75歳以上の高齢者から始まり、順次対象範囲も拡大していきます。

日本の感染症の歴史をみると、1879年(明治12年)にコレラの感染者が16万人を超え、死者も10万人を超える状況となり、府中市(旧芦田郡府中市村)にも猛威を振りました。当時19歳より府中市において父の後を継ぎ、医業を行っていた「藤野昌言」は、貧しい時代に困窮していた人から治療費を受け取らず、また、多くの医者がコレラの感染を恐れる中、敢然

として患者の治療を行い、48歳には自らもコレラに感染し、献身的な生涯を閉じられました。毎年10月6日に「藤野昌言先生の遺徳を偲ぶ会」がおこなわれています。現在流行している新型コロナウイルス感染症においても、日夜感染症のリスクを抱えながら治療を行い、またワクチン接種に対しても休日を返上し尽力頂いている医療関係者の皆様に改めて感謝いたします。

(広瀬)

議会だよりへの
ご意見・ご感想お待ちしております。
TEL(0847)43-7171
FAX(0847)45-3212

